

# 藤岡市 議会だより

◆発行日 平成19年11月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 有限会社大石印刷  
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第40号



小学校陸上教室記録会

## 9月定例会の あらまし

定例会は、9月4日から9月20日までの17日間の会期で開催されました。

平成18年度藤岡市一般会計歳入歳出決算認定についてなど30議案が提出されました。

◇4日〓本会議 会期の決定。議案27件を上程、うち14議案を即決。

◇5日〓経済建設常任委員会。

◇11・12日〓決算特別委員会

◇14日〓本会議 一般質問。

◇20日〓本会議 委員会付託議案13件を可決。

追加議案2件

議員提出議案1件を即決。

# 一般質問

## 6人が財務、環境、福祉、道路問題等で質疑

### 政策財務と自治体経営について

湯井 廣志

**問** 自治体への税源移譲や定率減税の廃止などの税制改正により、住民税の増収も見込まれるが、経常収支比率などに表れている財政構造の硬化や三位一体改革による財源総額の縮小があり、さらにこれに加えて福祉関係費や公債費などの歳出圧力などにより、自治体への財務環境は依然として厳しい状況が続いています。少子・高齢化による人口構造の変化は、税収の限界、福祉需要の増大など、歳入歳出の両面からとてつもなく重圧になってきます。藤岡市の財政構造の指標を見ても弾力性が乏しく硬直化が進み、経常収支比率も適正水準を超え、公債負担比率もいつ危険ラインに行くのかわからない。労働力人口の減少や高齢化の進展により、

将来の税収見通しはさらに厳しくなる。その一方で、福祉・教育・環境などの事業、地方債の償還、「ハコモノ」の補修・改築等の必要経費は益々膨大になる。この様なことを考えた時、市長は藤岡市の経営をどの様に考えているのか伺います。

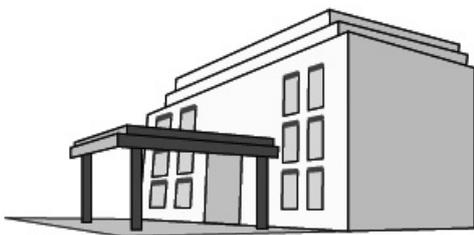
れる財政状況を維持できる財政運営をしていかなければなりません。昨年度、行政改革大綱を策定し、企業誘致を図るなど歳入の確保

や歳出改革、事務事業の見直しを進め、選択と集中による財政運営を推進してまいります。

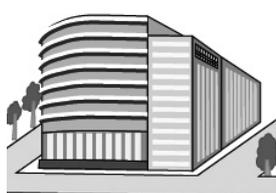
### 地域内分権推進について

**問** 国の補助金を得て道路を造成すると、採択条件で2車線を確保しなくてはならない。単独で行えば1.5車線で済み、無駄がなくなり工事費も安くなる。住民の望むものが望む形で実を結ぶ。藤岡市は行政改革プランで60億円の財源不足がある。行政改革を行っても31億円の財源不足、厳しい時代を乗り越えるため

に地域内分権を進める考えはないか伺います。  
**答** 環境整備等を図りながら市民の協働の認識を高め、市民と行政の新たな関係を模索してまいります。



**答** 藤岡市でも毎年厳しい財政運営を余儀なくされています。しかし、公的サービスが常に安定的に供給さ



# 地球温暖化対策について

窪田 行隆

**問** 地球温暖化が急速に進み、台風被害、熱中症等により市民の被害が増加している。藤岡市は温室効果ガスの削減にどのように取り組んでいるか伺います。

**答** クールビズ等の実施、資源ごみ分別回収、紙類のリサイクルを徹底している。本年度はエコバッグを作成し、併せて地球温暖化防止ハンドブックも配布しております。今後、新エネルギービジョンを策定すると共に藤岡市地球温暖化実行計画も藤岡市地球温暖化対策実行計画策定会議で検討しています。



**問** 地球温暖化対策として文部科学省が主管でエコスクールパイロット・モデル事業が開始された。小・中学校に太陽光発電を設置して環境教育を行うべきと考えます。また、災害時の非常用電力にもなるので伺います。

**答** エコスクールパイロット・モデル事業は10キロワット以上の発電能力を有した設備を対象としており、現状では構造上、また、コスト面でも導入は難しい。



**問** 太陽光発電の導入は必要であり、環境教育は重要である。今後の設計段階から、小規模でも導入を踏まえ、小・中学校の改修に当たっていただきたいと考えますが伺います。

**答** 環境教育の大切さは認識しており、太陽光発電の屋外照明等の設置について研究し、可能であれば整備を行っていききたい。

# 老人保健について

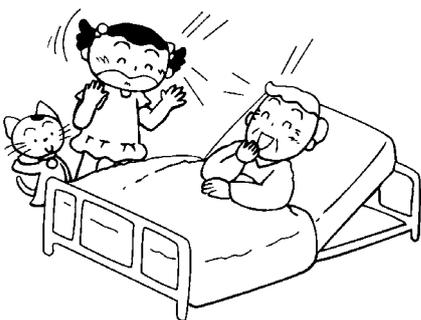
**問** 老人保健高額医療費の支給申請を、指定日に市役所に来ることは、高齢者にとってかなりの負担である。郵送で受け付けることができなにか伺います。

**答** 指定日時に来られない場合は、後日の申請でも可能です。また、毎週水曜日の夜間窓口でも受け付けています。遠隔地や病気等

で来庁困難な方には、郵送による申請も、例外的に受け付けています。

**問** 運用で対応できるのであれば、通知はがきに、市役所に来るのが困難な方に対し、相談可能な文言を入れるべきと考えますが伺います。

**答** 十分検討して前向きに進めていきたい。



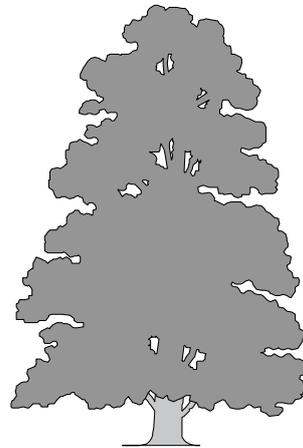
### 企業誘致について

渡辺徳治

**問** 先に第4次総合計画が発表されましたが、企業誘致が進められた過去10年間の財政支出、財政収入の経過について、また、本動堂、東平井工業団地等に伴う都市計画道路工事の総工費並びにそこで働く市内、市外の正規雇用者数と非正規雇用者数について伺います。

市民税で、約12億2800万円、9億4900万円の増

収となり自主財源の確保に貢献しました。また、雇用者数は市内正規雇用者107人、非正規雇用者54人、市外正規雇用者266人、非正規雇用者45人、合計で472人です。



### 生活道路改修について

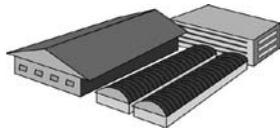
**問** 企業誘致に合わせつくられた都市計画道路、中上大塚線の総工費12億円、中地区19億円合わせて31億円かけて進められている。工業誘致のための大型道路、都市計画道路は計画的に進められているが、住民生活に密着した生活道路の改良、側溝新設工事はなぜ進められていないのか。方針と計画はあるのか。

藤岡市に住んで良かったと言われるバランスの取

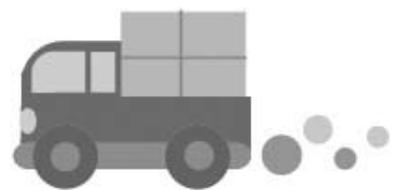


れた街づくりを進めない」と人口は増えない。企業誘致しても10年間で藤岡市民は161人しか就職できない。もっとバランスの取れた街づくりを進めるべきだと考えるが伺います。

**答** 都市計画道路につきましてはは道路の計画がありますが、生活道路につきましては、3年間の実施計画を立てて行っています。側溝につきましては、旧市街地における側溝の整備計画は十数年前に作ったものがあります。その計画にのっとりできないところが現況です。



**答** 企業誘致促進条例に基づき、財政支出は事業所設置奨励金、新規雇用促進奨励金、緑地設置奨励金が平成18年度までの累計で約2億7900万円、財政収入は固定資産税及び法人



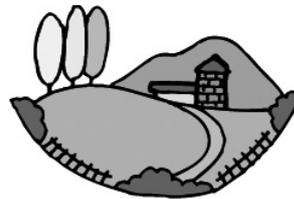
## 主要道路の整備促進について

佐藤 淳

**問** 県道前橋長瀬線バイパスの現状と今後の事業の詳細について伺います。

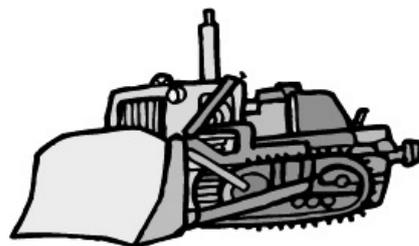
答 現在未着手となっております区間は、国道254号線から水押し団地までの区間、延長850メートルにつきましては、平成28年度完成を目的に事業実施していきたい、ま

た、事業費としては、約34億円位掛かると土木事務所は言っています。



**問** 私は、県事業だから県にお任せでいいとは考えていません。この事業に対して積極的に藤岡市が関与すべきと考えます。地権者との交渉を早期に解決することが極めて重要と思いますが藤岡市としての考え方を伺います。

答 地権者側の要望を藤岡市としてどのように応援しながら県に要望していくか、これが非常に大事な仕事になってくると思います。新年度の中で事業が進んでいくわけですので、少し人的にも配置をしながら進めていきたいと思っております。



## 藤岡市のごみ処理について

岩崎 和則

**問** 生ごみの分別収集により可燃ごみの総排出量を大幅に削減すること

が出来ると考えるが、分別収集の早期の実施を提言する。生ごみの取り組み方について伺いたい。



答 先進自治体が行っている生ごみ及び食廃油の資源化事業等を参考にし、コンポスト等の最終利用方法を初め、このようなリサイクル事業について民間業者を含め自治体がどの様に関



与していくべきか等、費用と効果等を含め、今後の課題として前向きにとらえていきたい。

**問** 学校給食センターの食残渣の排出量はどれ

くらいあるのか。また、学校給食センターにおける食残渣堆肥化事業を提案する。生ごみによる廃棄物熱利用とも関連付け、最も効率の良い方法での取り組みについて伺いたい。

答 平成18年度1年間の合計で131トン。食残渣の堆肥化につきましては、色々な課題があり、今後は、先進地の事例等を参考にしながら関係部署と協議・検討して行きたい。

## 一般質問

### 財政情報について

斉藤 千枝子

ホームページにおいては、わかりやすい資料や指数の

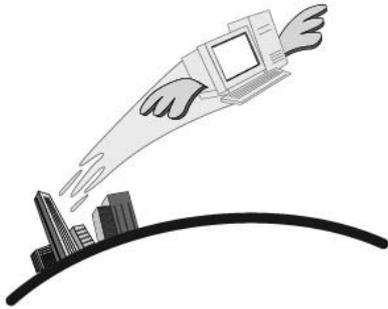
**問** 地方財政健全化法で毎年指標の公表を義務づけたということは、財政情報の開示の充実を図るといことですが、市民にわかりやすい情報を提供することが重要です。事業別行政コスト計算書の作成について、また、ホームページも工夫していただきたいが伺います。



説明、身近な言葉等で公表していきたい。

**問** 第4次総合計画の基本計画、実施計画に財政推計、財政見通しを入れるべきと考えますが伺います。

**答** 国において、国と地方の税配分について見直しを今後検討するとされたものの、その方向性は読み取れない等、不透明な要素が多い中で中長期的に的確に推計することは大変難しい状況です。財政推計を記載することは混乱を招くことにもなりかねないと認識しております。



**答** 事業別コスト計算書については、いくつかの事業に対して作成する方法を検討し公表していきたい。

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(11月下旬公開予定)をご覧ください。

## 市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局 (☎ 21211内線2361) へ

# 総務常任委員会報告 — 所管事務調査 —

総務常任委員会では、平成19年8月24日午前10時から午後3時30分まで、行革推進室、情報能率課、地域安全課の所管調査を行い、ららん藤岡、多野藤岡広域消防本部、緑壱クリーンセンター、3カ所の現地調査を実施しました。

## ① 行革推進室

藤岡市行政改革推進計

画により作成した、平成18年度より平成21年度までの集中改革プラン実施前では平成18年度から平成21年度までの4年間で59億6300万円の財源不足が生じる見込みである。集中改革プランを実施しても依然として、約31億円という大きな財源不足が生じるので、委員会としては引き続き監視をして行きたい。



通信司令室見学

## ② 情報能率課

情報化施策、電算システム、情報セキュリティ、テレビ難視聴地域解消について説明を受ける。アナログからデジタル化、その対応について質疑が出された。引き続き調査をして行きたい。

## ③ 地域安全課

防犯体制、路線バス、交通安全対策、消防団体制、防災体制、災害対策等について説明を受ける。委員からは特に路線バスについて意見が出され、市民の足の確保を市民の目線に立ち、見直しをしていかなければならない。

## ④ ららん藤岡

現地調査を行い、施設は平成18年度より指定管理者制度の導入により、民間(株)クロスパークに委



緑壱クリーンセンター

室を見学する。消防無線のデジタル化に伴い群馬県の消防体制が大きく変わってくるが、この対応が今後の当市の大きな課題となってくると思われる。また、車両も老朽化が激しく、今後デジタル化の問題等様々な角度から問題提起をして行きたい。

## ⑥ 緑壱クリーンセンター

現地調査を行い、概要説明後、現地を視察する。地元住民に対しては問題ないが、処分量も年々増加し、平成26年度には満杯予定であったが、現時点で4年延命された。今後、益々市民と協力しゴミの減量化を図っていかなければならない。

## ⑤ 多野藤岡広域消防本部

現地調査を行い、消防体制の説明後、通信司令

- 委員長 湯井 廣志
- 副委員長 岩崎 和則
- 委員 青木 貴俊
- 委員 齊藤 千枝子
- 委員 片山 喜博
- 委員 松本 啓太郎
- 委員 反町 清
- 委員 神田 省明

## 議案等審議結果(9月定例会)

番 号	件 名	結 果
(市長提出議案)		
報告16号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)	報 告
報告17号	専決処分の承認を求めることについて(平成19年度藤岡市老人保健事業特別会計補正予算第1号)	承 認(全員一致)
諮問2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
第67号	教育委員会委員の任命について	同 意(全員一致)
第68号	藤岡市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第69号	藤岡市都市計画税条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第70号	藤岡市過疎対策のための市税(固定資産税)の課税の特例に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第71号	藤岡市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第72号	藤岡市都市公園条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第73号	藤岡市都市公園運動施設管理条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第74号	藤岡市自然活用管理センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第75号	市道路線の認定について	可 決(全員一致)
第76号	平成19年度藤岡市一般会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
第77号	平成19年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
第78号	平成19年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
第79号	平成19年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
第80号	平成19年度藤岡市水道事業会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
第81号	平成18年度藤岡市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定(多 数)
第82号	平成18年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(多 数)
第83号	平成18年度藤岡市老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(全員一致)
第84号	平成18年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(全員一致)
第85号	平成18年度藤岡市介護老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(全員一致)
第86号	平成18年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(全員一致)
第87号	平成18年度藤岡市学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(多 数)
第88号	平成18年度藤岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(全員一致)
第89号	平成18年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(全員一致)
第90号	平成18年度藤岡市簡易水道事業等特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(全員一致)
第91号	平成18年度藤岡市三波川財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認 定(全員一致)
第92号	平成18年度藤岡市水道事業会計決算認定について	認 定(全員一致)
第93号	平成18年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計決算認定について	認 定(全員一致)
第94号	平成19年度藤岡市一般会計補正予算(第2号)	可 決(全員一致)
第95号	平成19年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
(議員提出議案)		
第8号	割賦販売法の抜本的改正に関する意見書の提出について	可 決(全員一致)
(請 願)		
第5号	割賦販売法の抜本的改正を求める請願	採 択(全員一致)

委員長 齊藤千枝子  
 副委員長 青木貴俊  
 委員 湯井徳治  
 委員 冬木廣志  
 委員 佐藤一俊  
 委員 反藤達哉  
 委員 吉田

今年も残すところあと2カ月、編集委員会では、今後も議会活動がよりわかりやすく身近に感じられるよう「市議会だより」の一層の充実に努めてまいりたいと思います。

また、一般質問では、6人の議員が、財政財務、地球温暖化、企業誘致、主要道路の整備、ごみ処理、財政情報等、広範囲にわたり質問を行いました。

9月の定例会市議会は、平成18年度一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、9月上旬の台風9号の災害による平成19年度一般会計補正予算の追加議案等の議決を行いました。

山の木々も色づき始め、朝夕風が肌寒く感じる季節となりました。

**編  
集  
後  
記**